

成果の説明書

(氏名) 小熊 仁	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>○ 研究活動</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 科研費（若手研究 B）に関する研究</li></ul> <p>前年に引き続き青森県鯉ヶ沢町の弘南バス深谷線沿線住民 1,303 名を対象にアンケートを行い、バスの維持に対する WTP（Willingness to pay）とソーシャル・キャピタル等社会経済変数との関係についてマルチレベルモデルを用いて分析を行った。この成果について以下の学会で報告を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ <u>小熊 仁</u>「ソーシャル・キャピタルが地方公共交通の住民参加に与える影響～弘南バス深谷線の調査結果から～」公益事業学会 2018 年度大会,2018 年 6 月 10 日,一橋大学。</li><li>・ <u>H. Oguma</u> “Does social capital enhance the involvement of residents in public transport? : a multilevel analysis of rural area in Japan” , The 13<sup>th</sup> ISTR International Conference, July 10 , 2018, Amsterdam, Netherland.</li></ul> <p>・ 委託調査研究</p> <p>(株)中沢ビレッジから「さいたま発着宿泊者専用直行バスに関する需要予測と利用者便益に関する調査」について委託を受け、「ホテルビレッジの交通アクセスに関するアンケート」「宿泊者専用直行バスに関するアンケート」「宿泊者専用直行バスの利用に関するアンケート」の 3 つを実施した。調査結果は次年度早期に集計し、現地報告会にて報告を行う予定である。</p> <p>・ その他の研究</p> <p>日本海運経済学会第 51 回大会（東京海洋大学）の統一論題報告を学会誌に投稿し、下記の通り掲載された。また、日本の公営バス 26 事業者の効率性とその要因分析を行い、本学地域政策学会機関誌『地域政策研究』に寄稿した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ <u>小熊 仁</u>「空港所有形態と空港経営の効率化に関する研究～SBM ダイナミック DEA を用いた日英比較分析」『海運経済研究』海運経済学会 第 52 号 11～20 ページ。</li><li>・ <u>小熊 仁</u>「公営バス事業の効率性分析と事業改革の方向性」『地域政策研究』高崎経済大学地域政策学会 第 21 巻第 4 号 29～47 ページ。</li></ul> <p>このほか、下記の依頼原稿について寄稿を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 「交通の不思議と読み解き方 - 航空編 - 多くの外国の航空会社が日本に入ってきて大変便利になっているのに外国の航空会社は日本国内に限った輸送をしてくれません。なぜでしょうか？」『運輸と経済』（一財）交通経済研究所 第 78 巻第 4 号 64～69 ページ。</li><li>・ 「DEA による国管理空港の効率性評価」『Kansai 空港レビュー』（一財）関西空港調査会,第 486 号,52～54 ページ。</li></ul> <p>・ 受賞</p> <p>下記の書籍が 2018 年度(一財)航空振興財団住田航空奨励賞を受賞した。</p> <p>木谷直俊・塩見英治(監訳)『グローバル経済における空港のファイナンスと投資』創成社 2018 年 7 月(分担翻訳者として小熊 仁)</p> <p>○ 教育活動・社会活動</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 教育活動</li></ul> <p>本年度は、「交通政策論」(前期)、「初年次ゼミ」(前期)、「観光交通論」(後期)、「グ</p>	

ループ研究Ⅰ」(後期)、「演習Ⅰ」を担当した。また、「演習Ⅰ」への準備として、ゼミに決定した2年生を対象に隔週でプレゼミを開催した。ここでは観光に関わる基本文献の輪読と研究ノートの作成(月1回)を行った。「演習Ⅰ」では、前年のプレゼミに引き続き研究ノートの作成と早期の卒論作成に向けた活動を行い、夏季休暇中には、2年生・3年生合同で日本航空株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、ヤマト運輸株式会社羽田クロノゲートにて企業研修を実施した。

他方、学内業務としては、入試運営委員会の委員として、入学試験関連業務に携わった。このほか、高校生向けの模擬授業として下記の講義を担当した。

- ・ 「整備新幹線と地域活性化～北陸新幹線を題材として～」富山県立呉羽高校 2018年7月24日。
- ・ 「群馬の空を見てみましょう！なぜ飛行機が飛んでいないのでしょうか？～群馬県がかかえる交通の諸問題～」高崎経済大学オープンキャンパス 2018年8月5日。
- ・ 社会活動

下記の委員会で活動を行った。

国土交通省北陸地方整備局 事業評価監視委員会 委員

国土交通省東北地方整備局 東北地方における港湾行政に関する技術検討会 委員

航空政策研究会 航空における利用者負担のあり方研究会 委員

また、上毛新聞社『視点オピニオン』第27期委員として同紙に寄稿を行った。

「高速道路の渋滞 要因複数、安全第一で」2019年4月24日掲載予定

「魅力度ランキング もっと群馬自慢しよう」2019年2月21日掲載

「改正水道法 民営化ありき避けよ」2019年12月29日掲載

## 2 その他の事項

特になし

## 3 次年度以降の計画・抱負

今年度はJSPS科学研究費補助金「ボランティア交通従事者の参加意識・心理とソーシャル・キャピタルの関係に関する研究」基盤研究C 2019～2021年度4030千円が新たに採択されたことから、本研究の速やかな実施と取りまとめに力を注ぐ。また、これと同時に(株)中沢ビレッジより受けている委託研究課題、および今年度申請予定の「高崎経済大学地域課題研究等推進費」にかかる研究も早急にすすめ、早期の成果の公表を目指して取り組んでいきたい。